

生態園マップ～2025夏編～

きせつ ＜季節のできごと＞

はたけ さといも そだ しょくよう こうかがく こうかがく しょくぶつ ひがい かんさつ
畑ではアサガオや里芋などを育てます。これは食用ではなく、光化学オキシダント（光化学スモッグ）の植物への被害を観察するためです。よく見ると葉っぱの表面が変色しているものがあります。これらは光合成をするときに二酸化炭素と一緒に光化学オキシダントを吸い込み、細胞に被害を受けたことによるものです。



ニホンカナヘビ



ぜんこく
ニホンカナヘビは全国に
せいそく にほん こゆうしゅ
生息する日本の固有種で
す。こげ茶色の体に白い
すじ ちやいろ からだ しろ
筋が入っているのが特徴
で、鱗は光沢がなく、
うろこ こうたく
表面はザラザラして乾い
ひょうめん かわ
て見えます。日光浴が大好
み にっこうよく だいす
きで、起きている時間のほ
お じかん
とんどは温かい場所
あたた ばしょ
で日光浴をして過ごしていま
にっこうよく
す。家の庭や草むら、
いえ にわ くさ
せいいたいん み
生態園でも見ることができ
さが
ます。探してみませんか。



CESSチャンネル (Youtube)

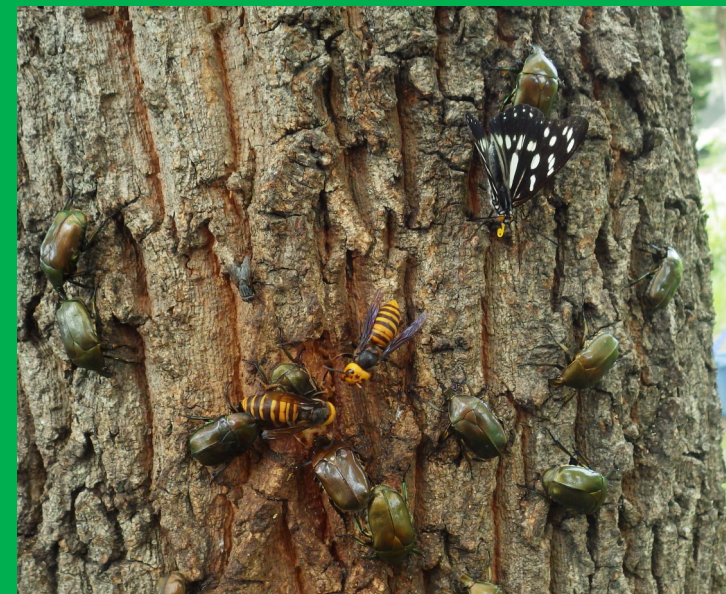
生態園についても配信中

クヌギの樹液(じゅえき)

クヌギはブナ科の落葉広葉樹で、カブトムシやクワガタが集まる木として知られています。クヌギの木の樹液をカブトムシ(メス)、コガネムシ、ゴマダラチョウ、スズメバチが吸いに來ています。木から染み出た樹液は、お酒が発酵したような匂いがします。この匂いに誘われて、たくさんの生き物がこの木に集まります。

カブトムシのオスはいませんね。オスは硬い体と丈夫な角を持ち、闘争心も強いので、他の昆虫を押しつけてしまいます。そのため、オスのいない時に他の昆虫がくるようです。

★注意：クヌギの木の樹液はスズメバチも大好きです。観察する際は十分にお気をつけください。



夏の昆虫

生態園にはカブトムシだけではなく夏を代表する昆虫たちがたくさんいます。来年も見られるように、観察したら生態園に戻してくださいね。

ノコギリクワガタ



名前のおおと雄の大あごのうちわは、の内側にたくさんの歯があるのが特徴のクワガタです。幼虫の時の栄養状態で大あごの大きさは決まるようです。

ギンヤンマ



頭から尾までは7cm、翅の長さは5cmほどの大型なトンボです。頭部と胸部は黄緑色、腹部が黄褐色をしています。

アブラゼミ



セミの多くは透明の翅ですが、アブラゼミの翅は前後とも不透明の褐色をしていて、世界でも珍しい翅全体が不透明なセミです。「ジリジリジリジリ」の鳴き声は暑さを倍増させます。